

多言語 AI リアルタイム通訳・翻訳技術に関する特許を日本・中国で取得

～ tel-trans シリーズ等の中核技術、国際予備審査でも新規性・進歩性を全項目で確認 ～

多言語 AI リアルタイム通訳・翻訳 SaaS の開発・事業化を手がける株式会社 C&T Corporation（本社：群馬県前橋市、代表：瀧澤清美）は、同社の中核技術である「第 1 の利用者側装置、翻訳システム及び翻訳方法」について、日本国および中国において特許（専利）を取得しましたことをお知らせいたします。

本特許は、電話番号と利用者の使用言語を紐づけた電話帳データベースを介し、WebRTC による P2P 通信とクラウド翻訳 API を組み合わせることで、双方向のリアルタイム音声翻訳を実現する仕組みに関するものです。tel-trans シリーズをはじめとする同社の主要製品群の技術的基盤となっています。

■ 特許登録の概要

	日本	中国
発明の名称	第 1 の利用者側装置、翻訳システム及び翻訳方法	第 1 利用者側装置、翻译系统以及翻译方法
登録番号	特許第 7816905 号	ZL 2024 8 0058872.5（授權公告号：CN 121844379 B）
登録日	2026 年 2 月 9 日	2026 年 8 月 7 日
出願日	2023 年 9 月 13 日（特願 2023-148625）	2024 年 8 月 27 日（PCT 国内移行）
発明者	瀧澤清美、石橋誠	瀧澤清美、石橋誠

■ 米国・韓国・インドの状況

米国・韓国・インドについては 2026 年 3 月 2 日付で PCT 国内移行手続きが完了しており、各国特許庁における実体審査の開始を待つ段階です。

■ 国際予備審査報告（IPER）でも高い評価

本発明は、日本国特許庁を国際予備審査機関とする PCT 国際予備審査（PCT/JP2024/030560）においても、新規性・進歩性・産業上の利用可能性のすべてについて肯定的な判断を受けています。審査官は、複数の周知技術文献を検討した上で、「言語と電話番号を対応付けた電話帳データベースに基づく構成」がいずれの先行文献にも開示・示唆されていない点を、特許性を支える技術的根拠として明示しました。

■ 本特許の位置づけと今後の展開

- 多言語 AI リアルタイム通訳・翻訳 SaaS「tel-trans」シリーズ（MAP／QR／SOS／biz／PBX／CTI）の技術的基盤として、既存製品への実装を継続
- 自治体・医療機関・介護施設等への多言語コミュニケーション基盤としての導入を推進
- 群馬大学、医療法人民善会、円未来等とのコンソーシアムを通じた社会実装・実証研究を継続

■ 株式会社 C&T Corporation について

群馬県前橋市を拠点に、多言語 AI リアルタイム通訳・翻訳 SaaS の開発・事業化を行う企業です。tel-trans シリーズ、UniTrans、ESC-system、care-mind 等、20 製品以上のプロダクトラインを展開し、TOKYO SME OPEN INNOVATION PROGRAM 等との PoC 実績を有しています。

会社名	株式会社 C&T Corporation
所在地	群馬県前橋市石倉町四丁目 4 番地 10 石倉マンション 205 号
代表者	瀧澤 清美
設立	2013 年 11 月
事業内容	多言語 AI リアルタイム通訳・翻訳 SaaS の開発・事業化

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社 C&T 担当 瀧澤清美 027-251-5515 info@c-and-t.co.jp

※本リリースの内容は 2026 年 8 月時点の情報です。特許登録情報は日本国特許庁・中国国家知識産権局の公式発行書類に基づきます。

